

例会報告：2016年11月22日（晴れ） 第1958回 通常例会

◆ 会員誕生日
本多 純二さん（11月26日）



◆ 結婚記念日
志澤 昌彦さん（11月24日）

◆ ニコニコ箱
大野 英明 委員

	ニコニコ箱	累計	目標
11月22日分	8,000	374,625	1,200,000

*会員誕生日
本多 純二さん…古希を向かえ、いよいよ70代に入ります。今後はのんびりとロータリーライフを楽しみます。よろしく！！

*その他
鈴木 友徳さん…お伊勢参りに行ってきました。
清 康夫さん…①今日は母の命日、40年前のことでした。今朝仏壇にて生んでくれたことに感謝し、有り難うと祈って来ました。

※40年前の母の命日のエピソード
11月21日は村瀬会員のお父さん達と塗装業界の台湾旅行で丁度帰る日。11月20日の夜家内からTEL有り、とてもびっくりしたことです。TEL連絡には村瀬会員の努力で台湾の居場所が分かりました。
②11月29日、富士小山カントリークラブにて当社フジミの得意先54名のコンパを開催しますので、例会欠席させていただきます。

- ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■
- 2016年11月-
- ▶30日(水) 小田原北
- 2016年12月-
- ▶1日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
 - ▶2日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「会員による卓話」
 - ▶2日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「クラブ協議会：
年次総会・次年度理事・役員選出」
 - ▶5日(月) 小田原 報徳会館 12:30
年次総会
 - ▶6日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
年次総会・クラブ協議会
 - ▶7日(水) 小田原北
 - ▶8日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
クラブフォーラム（半期報告・委員会報告）
 - ▶9日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「出前講座②」
 - ▶9日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「クラブフォーラム」
 - ▶12日(月) 小田原 湯本富士屋ホテル 18:00
「年末会員家族親睦会」
 - ▶13日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
 - ▶14日(水) 小田原北
 - ▶16日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「出前講座②」
 - ▶16日(金) 足柄
「クリスマス家族親睦夜間例会」
 - ▶17日(土) 小田原中 ホテル大箱根
「年末会員家族親睦会」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：櫻井 康二
編集長：小林 和彦
コピーライター：小林 和彦
デザイン：小林 和彦
フィールド：大川 久弥

会員数：38名

RAC
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2016-2017
WEEKLY BULLETIN

人類に奉仕するロータリー

【R.I. 会長】
ジョン・ジャーム
【R.I. 2780地区ガバナー】
佐野 英之
【第9グループガバナー補佐】
高田 喜好

【会長】辻村 彰秀
【副会長】阿久津 馨
【幹事】櫻井 康二
【副幹事】荻野 善明
【会場監督】小川 和夫

人類に奉仕するロータリー
ROTARY SERVING HUMANITY

本日の例会：通常例会（第1959回）
会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年11月29日 12:30～13:30
司会：荻野 善明 副幹事

12:30	開会点鐘：辻村 彰秀 会長 ロータリーソング斉唱 「それこそロータリー」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	卓話：吉本芸人 スペリー・マーキュリー様 「地元出身の吉本芸人として」
13:30	閉会点鐘：辻村 彰秀 会長

- 【今後の例会・卓話スケジュール】
- 12月6日（火）通常例会 12:30**
クラブ協議会（年次総会）
 - 12月13日（火）忘年家族会（夜間）**
会場：大磯迎賓館
受付：17:00～17:30
例会：17:30～18:00
宴会：18:00～20:00
会費：R会員 10,000円
R家族 8,000円
Rアクト 8,000円
 - 12月20日（火）通常例会 12:30**
卓話：フリーアナウンサー 石田 江利様
「私がアナウンサーになったきっかけ」
 - 12月27日（火）休会**
 - 1月3日（火）休会**
 - 1月10日（火）新年例会（夜間）**

■寄稿 (3)

ロータリーが呱呱の声をあげたのは、1905年（明治38年）の2月23日です。その当時の日本は、日露戦争（明治37～38年）の真っ最中で、ロシアのロジェストウェンスキーが率いるバルチック艦隊を迎え撃つ作戦を必死になって練り上げていました。

日露戦争当時の政治家や軍人そして一般の庶民は、現在の日本人に比べて、同じ日本人なのかと思うくらいに、どうも優れているような感じがします。それは江戸時代のおいがかまだかすかに残っていて、それなりに文明人だったと思います。

人間にとって、秩序というのが文明の根幹です。ルールを守る、秩序を守る、しつけ、倫理、道徳、行儀作法といったものが文明の基本です。江戸時代には秩序がありましたから、江戸時代は文明なのです。ひるがえって考えますと、現代の日本はだんだん文明そのものから、少しずつ遠ざかっていっているような気がします。

旺文社の国語辞典を引いてみますと、文明とは「文教が盛んで、人知の明らかなこと」と書いてあります。因みに「文化」というのは不合理なものです。「文明」は合理的なものです。

歴史的に見ると、わが国は二度にわたり、日本固有の文化や慣習の良さを捨ててきています。明治維新と戦後の民主化です。明治維新ではひたすら欧米化をめざし、太平洋戦争後は軍事主義的な考えを改めるだけでなく、日本古来の家庭や地域の良さも捨て、更に経済の高度成長がそれに拍車をかけたのです。高度成長はまさに色々のものがこわされた時代です。人の心も人の顔もそして地球までこわされたのです。

RIの社会奉仕活動には、さまざまなプログラムがありますが、ロータリー活動を通じて、全世界にそして日本に一層秩序がよみがえり、少しでも文明を向上させることが出来ればと思います。

大谷 宏

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2016年11月22日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶



辻村 彰秀 会長

皆さん、こんにちは！ 本日早朝の5時59分に福島沖でマグニチュード7.4、震度5の大きな地震があり、私は驚いて起きてしまいましたが、皆さんも同じだったと思います。その後のテレビのニュースはすべて津波情報や警報一色になっておりました。先の大地震の教訓もあって、アナウンサーが何度も避難

を促す声が少々騒がしく感じましたが、何事もなく経過しているようで幸いでした。この小田原地域もいつかは地震や津波が来ると言われています。是非、ご注意くださいようお願いいたします。

皆さんもお感じでしょうが、この頃、例会の出席率が大変悪くなっております。出来るだけ例会への出席義務を果たすようお願いいたします。又、欠席なさった時にはメッセージをお願いいたします。そして、欠席するときの連絡がない方も大変増えています。お仕事等で仕方なく例会を欠席するときには、無駄な昼食を用意しないため、経費削減のためにも、例会前日の午前中には事務局までご連絡くださるようお願いいたします。この件については、会員皆さまにお願いのファックスを送付させていただきます。ご了承ください。

昨日は会長幹事会に参加してきました。来年の1月16日（月）にIMが開催されます。当クラブより大川久弥さんが実行委員として参加していただいております。ありがとうございます。場所は湯本富士屋ホテルにて開催されます。開催前の午前中にはエンド・ポリオ・ナウの募金活動が小田原ロータリークラブ主体にて計画されておりますので、例年同様にご協力をお願いいたします。又、来年4月16日（日）には、第2780地区の地区研修協議会が、第九グループ内の松田町の立花学園にて、親クラブである小田原北クラブがホストとして開催されます。当クラブも最大限の協力をしていかないと成功できないと思っております。皆様のさらなるご協力をお願いいたします。

明日は、国民の祝日「勤労感謝の日」です。「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」という趣旨の元、1948年昭和23年に制定されました。これは戦後GHQのもとに制定されたもので、戦前は日本書紀にも出ている「新嘗祭」と呼ばれていた祭日でした。これは、五穀豊穡（豊作）に対する神への感謝を捧げる祭りでした。神様に穀物を献納し、新米を供えて初めて、人も新米が食べることができました。現在でも、皇室では宮中祭祀の中で最も重要なものとされて、天皇陛下が儀式をなさっております。この儀式は天皇から天皇への口伝えによって伝えられており、内容はわかっておりません。要は日本の収穫感謝祭がもとになっております。明日は、経済を回すために、すべての働いている人、生産されたもの、そして神様に感謝しあう日です。一日早いですが皆様に心より感謝して、本日の会長挨拶といたします。ありがとうございました。

❖ 幹事報告



櫻井 康二 幹事

1)12月6日（火）第6回定例理事会を11時より談話室にて開催いたします。理事の方は出席をお願いします。
 2)モンゴル子供支援
 IVNMC NGO ウランバートルRC日本モンゴル友好委員長 日本代表 江口喜多枝様よりカレンダーが届きました。40周年の写真等が記載されてますのでご覧ください。



- 3) 12月13日（火）忘年クリスマス家族例会に、会員・家族の出席をお願いします。
- 4) 例会欠席時は必ず事務局に連絡して下さい。宜しくお願いします。

❖ 出席報告

本多 純二 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
11月22日	38(35)	23	0	65.71%
11月15日	38(35)	23	1	68.57%
11月8日	38(36)	29	0	80.56%

【欠席者】12名
 大木 清、久保田 知子、一寸木 芳行、内山 修一、大高 英之、須藤 公司、大川 裕、木村 啓滋、志澤 昌彦、齋藤 永
 【今回MU】なし
 【前回MU】増加なし
 【前々回MU】増加なし

❖ Table flower

- チューリップ
 - アネモネ
 - ランタンキュラス
 - ブプレリウム
 - カルテットホワイト
- 【花言葉】
 チューリップ：「思いやり」
 アネモネ：「可能性」
 ランタンキュラス：「晴れやかな魅力」
 カルテットホワイト：「永遠の美」



❖ 卓話

「ロータリー財団クラブフォーラム」



ロータリー財団委員長・石崎 孝 会員

財団月間ということで卓話をさせていただきます。本来、ロータリークラブは寄付団体ではありません。寄付とは、街頭で募金活動に寄付をする、災害のあった場所へ義援金として寄付をする、そういったものです。ロータリー財団も米山も寄付という名称を使っていますが、我々は当事者であり

自分たちのことなのです。基本的には意味合いが違うと思います。奉仕活動に対して真心を注いで有効に使っていただきたい、その思いの中で出す浄財です。ロータリアンとしてその違いをまずご理解ください。

当クラブはロータリー財団委員会の中にロータリー財団増進委員会、米山奨学委員会、ニコニコ箱委員会と3つの委員会が統合されています。心のこもった浄財を、困った人たちのために使ってほしいという思いで出すお金です。ニコニコ箱委員会は分かりやすいでしょう。皆の真心をRCの奉仕活動に使ってもらいたいと特別会計を設け、それを各奉仕に振り分けて使う訳です。ですからクラブ理事会はニコニコ箱のお金を、しっかり費用対効果も考えて有効に使っていただきたいと思います。入会すると最初にニコニコ箱へお金を入れ、それはクラブ運営に使われていきます。年会費の中から奉仕に使うお金はあまりありませんので、ニコニコが少なくなるとRCは死に体になってしまいます。奉仕活動のできない、単にお食事会をするクラブになってしまいますので、是非お気持ちを入れていただきたいと願っています。

残りの2つ、米山奨学委員会とロータリー財団増進委員会は基本的窓口が地区になります。2780地区が全体窓口で、そこに我々が浄財を出す形です。地区の中で皆様がお出しになった浄財を管理し、その予算内で奨学生を何人受け入れられるかが決まります。年々ご寄付が減っているようで受け入れ人数も減ってきています。皆さんが出すお金はしっかり管理され、元金は奨学金のためにだけしか使われていません。2780地区で15人の奨学生を受け入れることができるとすれば、各グループに割り振ってお世話します。米山奨学生は例会に必ず来ますので、自分たちのお金が直接目の前の奨学生に渡されることで理解しやすいと思います。それに比べてロータリー財団は見えにくいかもしれませんが。窓口は同じく地区ですが、日本のロータリー財団から国際ロータリー財団へお金が移動します。2780地区の合計金額がそのまま国際ロータリー財団へ行き、そして3年後に地区へ戻ってくるわけです。しかし全額ではなく、半分は国際ロータリー活動資金となり、地区へ戻るのは残り半分です。そのうちのまた半分が新地区補助金となり25%が地区補助金として使用されます。そのお金はクラブからの奉仕プロジェクトに対して、地区の裁量で50万円以内なら協力しましょうと使われるものです。ですから各クラブはどんどん申請した方が得です。今は比較的簡単に通りますが、その代わりクラブでも事業全体の30%は負担しなくてはなりません。

グローバル補助金は規模の大きな3万ドル以上の奉仕プロジェクトに対してです。他にも地区からは財団奨学生も出していますし、教育的プログラムにも使われていますが、残ったものは全て補助金になります。グローバル補助金は決定すると国際ロータリーWFからも加算され、大きなお金になります。ただ条件は厳しく、ロータリー財団の6つの重点項目に合致していないといけません。また持続性が無ければいけない、効果を測定できなくてはいけない、など色々な規定があります。お金の管理も厳しくしっかり報告する義務がありますので、申請するクラブは多くありませんが、2780地区では今まで2クラブが申請を通りました。海外で井戸を掘るプロジェクトなどです。

財団の使命は「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです」とあります。そのために皆さまの温かいお金が使われているわけです。米国へ行ってしまって自分たちのお金がどうなっているのか分からないことも多いですが、ロータリーに対して十分理解した上で出していただきたいものです。強制的に集めてはいけないと定款にありますので、しっかりと財団の委員長が内容を伝えることが重要です。納得した上で皆様に寄付をお願いします。米山には普通寄付と特別寄付があります。普通寄付は各クラブが責任を持って収めてもらうもので、年会費から用意しています。それ以外の特別寄付は皆さま方の善意のお金です。目標2万円とよく言われますが、どういう結果になり、どう国際親善や世界平和に結びつくのか承知して出してもらいたいと思います。最近、クラブで米山奨学生を受け入れていないので、そろそろ受け入れを考えても良いのではないのでしょうか？財団は一般に年次寄付があります。1人200ドルと言われているのがそれです。それ以外にも財団には寄付の口座がたくさんあって、ポリオなどは使途指定寄付ができます。恒久基金は地区で一括寄付します。皆さんが年次寄付と別に高額寄付するとベネファクターと呼ばれるようになります。また、恒久基金は3年後に利息の50%が戻ってきます。国際ロータリー財団とRIは別の団体になっていますが、表裏一体で深い繋がりがあります。財団はRIが奉仕プロジェクトを実施するための資金が集まっている所というわけです。色々な口座がありますが、通常は年次寄付と恒久基金が中心です。寄付累計が1,000ドルを超えるとポール・ハリス・フェローの認証がもらえます。ロータリアンとして名誉なことなので、是非皆様のお気持ちを出していただけたらと思います。詳しくはガバナー月信に載っています。城北RCは2780地区の中でも財団と米山に多額の成績を納めています。常にベスト10に入っている立派なクラブですので、自信を持って活動を続けてください。

